多言語・多文化保育の実践から

一般社団法人多文化リソースセンターやまなし代表理事 加藤順彦





https://www.tabunkayamanashi.com/

1

小規模保育園

みんなのいばしょ

□2014/4月 日本語教室設立

県の委託事業(外国人の継続就労のための) この流れを活用して

- □2015/4月 認可外保育園設立
- □2017/4月 市の認可取得

■認可小規模保育園C型(O~2歳児9名)

事業内容

ロスタッフ体制

園長(保育士)、子育て支援員2名、調理員 施設長(管理者・子育て支援員/ブラジル人女性) 他に行政書士・社労士・税理士・経理/会計

- 口現在、乳幼児9名が全て外国籍
- □開園時間 : 7時半~18時半(土曜日も)
- 口送迎あり、家族サポートあり(通訳業務等)
- 口自園調理、連携施設(3歳児の受入れ)あり
- □園児の健康診断(年2回)、避難訓練(月1回)
- □保護者への引き渡し訓練(年数回)
- □連絡帳(保護者の母語に合わせてポルトガル語・スペイン語・カタカナ)
- ■スタッフ間では基本的に日本語使用

(з

保護者の声

- □子ども達にとって日本語のトレーニングができる
- □簡単な日本語の挨拶・返事ができるようになった
- □子ども達の健康管理・医療ケアーができている
- □細かいところまで気を配ってくれる
- □上の子を預けていたので安心感がある
- □野菜、果物など何でも食べれるようになった
- □3歳児の日本の保育園への移行がスムーズ

スタッフの声

- □連絡帳に保護者からの返事が欲しい
- □特に家での様子を教えて欲しい
- □日本語の読み書きができない保護者が多い
- □日本語での詳しい説明ができない